

平成 29 年度事業計画

自:平成 29 年 4 月 1 日

至:平成 30 年 3 月 31 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

平成 29 年度事業計画

つくば市国際交流協会は、平成 25 年(2013 年)2 月に一般財団法人として設立され、同年 4 月から業務を開始し 4 年が経過しようとしています。

平成 29 年(2017 年)2 月 1 日現在、つくば市には 139 カ国 8,833 名の外国人が居住しており、昨年の同時期に比べて 811 名増加しました。その多くは、留学生、研究員、会社員及びその家族、研修生、日本人の配偶者などと考えられますが、在留資格は多岐にわたります。

平成 28 年 5 月には、G7 茨城・つくば科学技術大臣会合が行われ、日本の最先端科学技術を世界に紹介しました。更に、同年 9 月には、平成 32 年度までの「つくば市グローバル化基本指針」が策定され、「多文化共生社会が実現するまち」、「国際連携により、世界に羽ばたき、つながるまち」、「グローバルな魅力の発信により、人や投資が集うまち」の 3 つの基本施策を実施するにあたり、当協会もつくば市と連携するよう求められています。

平成 28 年度、つくば市国際交流協会では、協会活動をより広範囲へ周知するため、機関誌 Link 第 4 号の区会回覧及び第 5 号の発行を行ったほか、ホームページや facebook にて、事業紹介を積極的に行いました。

外国人の意見やニーズは、国や生活環境によっても違うため、広く聴くことが重要です。平成 28 年度はベトナム、韓国を対象に座談会を開催しました。参加者からは、文化・習慣の違いに戸惑いを感じることもあること、夜の道が暗く怖いことなどの意見がありました。また、外国にルーツを持つ小中学校の児童生徒及び保護者に対して高校進学相談会を開催したところ、在籍する学校では把握できていないような、日本語指導が必要な児童の存在を確認し、関係部署と連携しながらフォローアップしました。更に、関東各地で外国人児童生徒の支援を行っている団体との交流の中で、つくばにも共通する様々な類似の事例や課題があることもわかりました。これらの結果からも、外国人への支援の方法を様々な視点から考え、連携・実行していく必要があります。

「つくば市グローバル化基本指針」及び 4 年間の活動を踏まえ、平成 29 年度は、通常の事業に加え新たな重点目標を以下の様に定めます。

1 外国人への生活支援の充実に取り組みます

病院やクリニックなど医療機関において、外国人患者が安心して母語で受診できるようにすることは、日常生活において欠かすことのできないものです。中核病院だけでなく医師会などを通じて、地域の医院・クリニックなどに対して医療通訳ボランティア派遣制度を積極的に周知するとともに、ボランティアの通訳レベルの向上、対応言語の

充実についても検討して参ります。

つくば市や周辺地域自治体及び国際交流協会などと連携し、長年の懸案事項でもある、病院と協会との間で医療通訳ボランティア派遣に関する協定の締結に向けた具体的な検討に取り組みます。

2 日本語指学習機会の充実に取り組みます。

外国人が日本で支障なく生活できるように日本語を習得することは重要です。特に小中学生に対する日本語教育については、生活のためだけでなく学習面における日本語を学ぶ必要があるため、教育委員会、大学、つくば市などの関係機関と連携し、新たに指導者の育成・研修など実践的な検討に取り組みます。

また、日本の学校制度、特に高校進学は外国人家庭にとってわかりにくいことも多く、早くから制度や費用、学校生活などについて知り、準備する必要があるため、高校進学ガイダンスを充実させ、昨年引き続き取り組みます。

将来的には、学習者の居住地周辺において、世代を問わずできるだけ多くの外国人が参加できるよう、日本語学習機会の充実に向けて参ります。

3 市民における国際間感覚の涵養に取り組みます。

国籍を問わず参加できるイベントの開催は、外国人の社会参加に繋げるための重要な取り組みと考えます。また、市民がグローバルな感覚を養い、国際社会への一員として異文化を理解し受け入れられるよう、Bivi つくば交流サロンにて「世界お茶のみ話」と題して、外国人研究者や留学生が母国を紹介する国際理解講座を新たに開催し、文化や習慣、課題などについて聴講者との活発な意見交換を促すことで、国際感覚やコミュニケーション力の向上が図れるよう努めます。

つくば市を拠点に国際交流活動を展開している団体・個人などと連携し、事業の共催または後援などにより、お互いの活動が活発になるよう取り組みます。

国と国との習慣や文化の相互理解を深めるためには、青少年期から外国との交流を体験することが有益だと考えます。平成29年度は、韓国大田広域市から青少年を招き交流事業を行います。

4 協会の中長期目標の策定に取り組みます。

つくば市グローバル化基本指針が策定されたのを受け、当協会としても将来を見据えた活動を行うために、中長期に渡る具体的な施策の策定に取り組みます。

平成29年度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)	
1	①日本語講座<つくばカピオ・つくばイノベーションプラザクラス> ②日本語ボランティア講師入門講座 ③こども日本語ボランティア講師入門講座(新規)
2	医療通訳ボランティア育成・派遣
3	外国人のための相談室
4	外国人高校進学相談会
5	メディカル英会話講座
B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)	
1	フェスティバル
2	文化交流(Bivi 講座, 日本・外国文化体験など)(新規)
3	姉妹友好都市交流
4	英語スピーチ・プレゼンテーション大会
5	英語観光ガイドボランティア募集・研修
6	通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
7	シティーチャットカフェ
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)	
1	ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査(座談会)
2	賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

※姉妹友好都市交流事業(つくば開催)と医療通訳ボランティア養成講座は年度単位で交互に行う。平成29年度は、姉妹友好都市交流事業(つくば開催)を行う。

平成29年度つくば市国際交流協会事業詳細

国際交流事業

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)

1 ①日本語講座<つくばカピオ・つくばイノベーションプラザ>

市内在住外国人を対象に、日常生活に必要な日本語(入門から初級)の修得を目的とする。講師は、日本語ボランティア講師(TIVONA の会)が担当している。

クラス:カピオ 6 クラス, イノベーションプラザ 3 クラス

期 間:4月～9月, 10月～3月

授業数:カピオ 各期 20回 1回 1.5時間(合計 30時間)

イノベーションプラザ 各期 16回 1回 2時間(合計 32時間)

定 員:各クラス 15名

②日本語ボランティア講師入門講座

①の日本語講座で講師をするボランティアを養成する。

回 数:年 1回(5日間程度)

③こども日本語ボランティア講師入門講座(新規)

近年、つくば市に居住する外国人世帯が増加するに傾向にあり、外国にルーツを持つ児童生徒に対する日本語教育の重要性が増している。筑波学院大学や教育委員会と連携して、こどもに対する日本語の指導方法を検討実践する。

・体制構築:こども日本語支援協議会設置の検討(教育委員会, 大学, つくば市, 協会など)

・人材育成:こども日本語指導者研修会(筑波学院大学共催)

回 数:年 1回(6日間程度:座学及び実習)

2 医療通訳ボランティア派遣・研修

市内在住外国人が病院で安心して受診できるように、患者の母語で通訳を行うことを目的とする。また、患者は周辺市町村から市内病院で受診するなど市町村を越えて移動するため、つくば市役所及び近隣市町村国際担当部局並びに同国際交流協会と連携できるよう検討する。

派 遣:随時(病院からの申請による)

派遣先:市内, 周辺市町村の病院, クリニック等

対応言語:英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語

3 外国人のための相談室

在住外国人の様々な相談を受け、その解決又は、より相応しい相談機関を案内することを目的とする。相談員は、研修会などにも参加し対応力の向上を図る。

実施日:毎週水曜日(祝日休)

時 間:9時～16時(英語), 10時～13時(中国語)

場 所:協会事務所内

4 外国人高校進学相談会
 外国にルーツを持つ人児童生徒及び保護者にとって、学校に関わる様々なトピック(日本語, 進学など)は悩みの種となりやすい。とりわけ進学においてトラブルを抱える外国人世帯は数多い。「高校とはなにか?」「試験はどのようなシステムか?」などに関するガイダンスをおこなうことで、外国人親子のサポートを行う。情報提供等を通して外国人児童生徒のキャリア形成に関するフォローを行う。
 また、県内外支援団体との情報共有を行い知識の蓄積を図るため、研修会等へも積極的に参加する。
 回数:1回 7月頃

5 メディカル英会話講座
 外国人患者が病院に受診する際に、受付から診療まで英語でスムーズな対応ができるように、基本的な話し方、用語などを習得すること、医療通訳ボランティアの派遣制度を周知することを目的とする。
 回数:年1回(冬期)
 場所:つくば市内
 対象:病院・クリニックの受付事務担当者, 看護師, 医師など医療従事者

B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)

1 フェスティバル
 世界の舞踊や歌の披露, 料理実演販売, 国際理解プログラム
 協会事業に協力いただく団体または市内活動団体を優先的に募集し, 協会見本市の原型を演出し, 市民に対して協会事業の周知を図ることを目的とする。
 実施時期:5月13日, 14日(予定)
 募集团体:飲食・物販・団体紹介など25団体, ステージ10団体程度

2 文化交流(Bivi講座, 日本・外国文化体験など)
 つくばを中心に居住する外国人が, 母国やその周辺で起こっていることをつくばに伝え, または課題を共有し, 日本またはつくばから何ができるのかなど, 講演者と聴講者との間で議論し, お互いを知り, 理解し, 交流する場とすることを目的に行う。その他, 協会以外の国際交流グループと連携して, 日本・外国文化体験講座なども行う。
 タイトル:Bivi講座(世界お茶のみ話)
 開催日:毎月第3土曜日 15:45~17:15(予定)
 場所:Biviつくば 交流サロン

3 姉妹友好都市交流
 韓国大田市から青少年(中学生)を迎える。平成28年度にホームステイした青少年を中心につくばに訪れる。日本家庭にホームステイするほか, 日本文化・科学体験を通して, 日韓の相互理解を図る。
 タイトル:2017日韓青少年交流事業
 期日:平成29年8月24日(木)~29日(日)(予定)
 場所:つくば市開催

4 英語スピーチ・プレゼンテーション大会
 英語学習初心者が, 留学生と交流しながら原稿を作成し, 発表する事により語学に関心を持ったり, 外国の文化に興味を持ったりすることを目的として開

<p>催する。(筑波大学共催事業)</p> <p>回数:年1回(11月～12月頃)</p> <p>対象:市内中高生</p>
<p>5 英語観光ガイド</p> <p>海外や他地域からつくばを訪問する外国人に対して、市内の観光スポットの紹介ができるボランティアの育成を目的とする。</p> <p>回数:年1回(6日間程度)</p>
<p>6 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介</p> <p>市民・留学生・JICA 研修員などの依頼者に対して、通訳やホームステイ等の支援を行う。また、市内小学校・幼稚園・保育所、特別支援学校などで開催される国際交流イベントなどに外国人を派遣する。</p> <p>時期:随時</p>
<p>7 シティーチャットカフェ</p> <p>英語で在住外国人との交流を目的として開催する。筑波研究学園都市交流協議会及び筑波大学と共催</p> <p>回数:12回(毎月1回開催。うち協会は4回担当)</p> <p>場所:ララガーデンつくば</p>
<p>C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)</p>
<p>1 ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査(座談会)</p> <p>外国人・または日本人が、国際交流協会に何を求めているのか、協会の進むべき方向を検討する指針とするために座談会形式で継続して行う。また、協会事業などの情報をホームページや facebook, Link!(機関誌)などを通じて周知する。</p>
<p>2 賛助会員募集</p> <p>協会を資金面から支援いただくために募集を行う。</p> <p>個人会員 一口 2,000円/年度</p> <p>団体会員 一口10,000円/年度</p> <p>法人会員 一口20,000円/年度</p>

旅券発給支援事業

<p>D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)</p> <p>つくば市パスポートセンター支援のため、写真撮影、印紙・証紙、葉書、切手等の販売を行う。</p> <p>営業日:月曜～金曜日(土日祝, 12月29日～1月3日休み)</p> <p>時間:午前8時30分～午後5時</p>
